



株式会社平和堂

会社説明会

東証プライム 8276

2026年8月22日

大和インベスター・リレーションズ株式会社
大阪オービックホール

本日本話しする内容

1. 会社概要
2. 第5次中期経営計画と業績の推移
3. サステナビリティビジョンと取組み
4. 株主還元

1. 会社概要

会社概要

社名	株式会社 平和堂
所在地	〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
設立	1957年6月
資本金	116億1,437万9千円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	13,374名※2026年2月時点パート・アルバイトは8時間換算の期中平均
事業内容	食料品、衣料品、日用雑貨品、携帯電話等の総合小売業 旅行、保険、銀行等の代理業及び店舗賃貸業等
店舗数	170店舗※2026年2月20日時点
連結子会社	11社 ※2026年2月20日時点



平和堂イメージキャラクター
「はとっぴー」

平和堂の紹介 ～歴史と業績の推移～

平和堂の業績の推移

平和堂は、消費者の生活防衛意識が高まる中、頻度品を中心とした戦略的な価格設定や生鮮品の差別化を進める「食品FMT改革」を展開してきました。その結果、客単価の向上と既存店の好調により、連結営業収益は過去最高を更新。物流・人件費等のコスト上昇を吸収しつつ、ドミナント戦略に基づく「HOP経済圏」の拡大を通じて、持続可能な収益構造の確立を加速させています。

1957年



彦根市銀座街に
『靴とカバンの店・平和堂』を創業

1966年



彦根店ビルに
「食品スーパーマーケット」開設

2017年



平和堂新本部“HATOC”竣工
(Head Office And Training
Omotenashi Communication)

2023年



“新”平和堂多賀
デリカセンター稼働

1989年

平和堂独自の
ポイントカード
「HOPカード」誕生



2013年

「平和堂
スマートフォン
アプリ」誕生

2024年

平和堂スマートフォン
アプリとHOPマネー機能
(HOPウォレット)が1つに
なった「HOPアプリ」誕生



グループ連結
4,000
億円達成

グループ連結
3,000
億円達成

グループ連結
2,000
億円達成

グループ連結
2025年度
4,560 億円

※この数値は連結決算を
2022年度より適用しています。

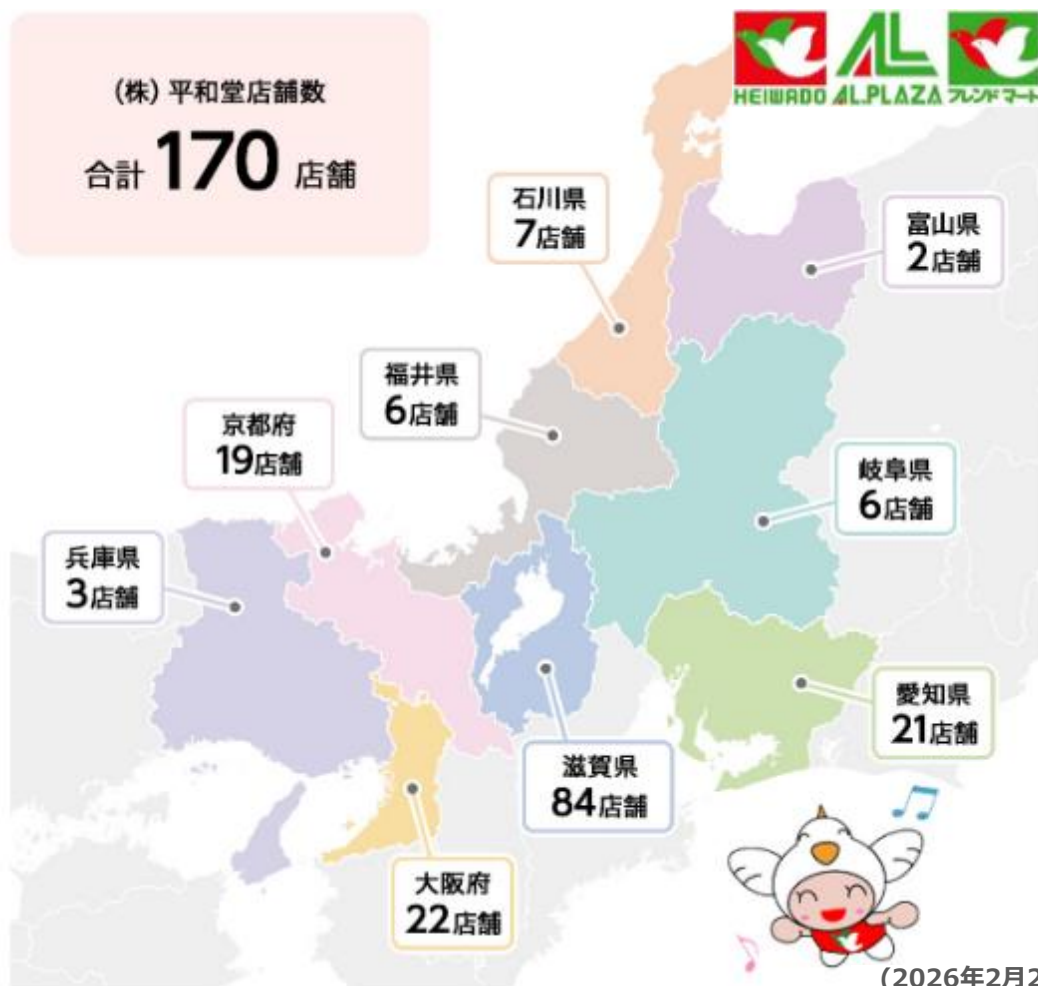
1957年に滋賀県彦根市に
「靴とカバンの店・平和堂」
創業以来、化粧品、衣料、
食品等取扱品目を増やし、
総合店として滋賀県中心に
2府7県に出店エリアを拡大

平和堂は創業以来、豊かな暮らし
と文化生活の向上に貢献し、
より多くのお客様にとって
「なくてはならないお店」
を目指して歩んできました

平和堂の紹介 ～単体の店舗展開～



ショッピングセンター、スーパーマーケットを2府7県に展開
売場面積 500㎡から65,000㎡の様々な店舗



(2026年2月20日時点)

■近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県)

大型ショッピングセンター（アル・プラザ）を中心に、
中型GMS、食品スーパー（フレンドマート）を配置

- ▶ 各地域の中でより高いシェアの獲得を目指し、
現在は大阪北摂エリアを出店強化エリアとしている

■北陸(福井県、石川県、富山県)

大型ショッピングセンター（アル・プラザ）を中心に展開
衣料品、住居関連品を品揃えし、お買い物以外のサービスも提供

- ▶ 昨年改装オープンしたアル・プラザ小松では、書籍を中心に
ジム&スタジオや雑貨、コミュニティスペースを開設

■東海(岐阜県、愛知県)

食品スーパーを中心に展開し、NSC型店舗にて集客効果高める

- ▶ 現在は愛知県を出店強化エリアとしている

NSCとは…食品スーパーを核として10～20店舗のテナントを
要する近隣型ショッピングセンター

平和堂の紹介 ～グループの事業構成～

平和堂グループはグループ憲章を原点に、お客様と地域社会に貢献し続けることを理念に掲げ事業を展開しています

国内・海外 小売事業

84.3%

(株)平和堂
平和堂(中国)有限公司

食品製造、加工、販売事業

8.9%

(株)ベストーネ

飲食店事業

3.2%

(株)ファイブスター
(株)シー・オー・エム

ビル総合管理、人材派遣事業

2.0%

(株)ナショナルメンテナンス

書籍・CDの販売及びフィットネス事業

0.8%

(株)ダイレクトショップ

その他（国内海外不動産関連など）

0.8%

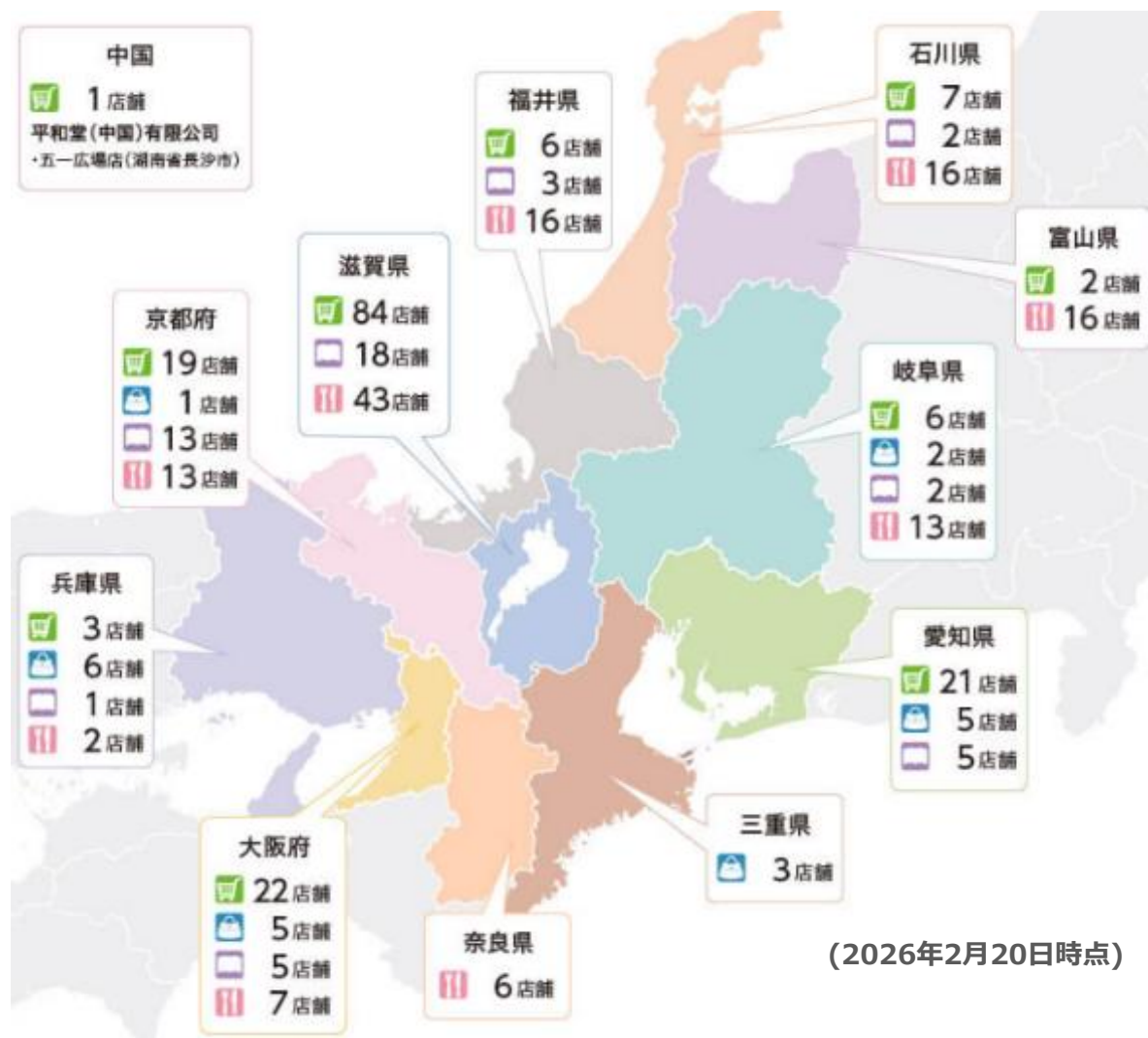
福井南部商業開発(株)
加賀コミュニティプラザ(株)
武生駅北パーキング(株)
富山フューチャー開発(株)
湖南平和堂物業発展有限公司

2025年度営業収益構成比（連結消去前）



平和堂の紹介 ～グループ全体の店舗展開～

近畿・東海・北陸地方 2府9県に、スーパーマーケットを中心に多様な業態展開



小売業

(株)平和堂 170
平和堂(中国)有限公司 1

ショッピング型店舗

※ショッピング型店舗とは…

株式会社平和堂直営のオリジナルセレクトショップで、
天文店・商業施設等へテナント出店している店舗

- CoCoRo Plus 18
- Kids fest 2
- GOODS DEPO 2

書籍・CDDVD販売 レンタル・フィットネス

- (株)ダイレクト・ショップ
- TSUTAYA 2
 - 平和書店 29
 - エニタイムフィットネス 18

飲食店

(株)ファイブスター

- ファミリーレストラン COCO'S 76
- すし処海座 9
- いちおしや伝五郎 2
- ピソラ 2

(株)シー・オー・エム

- ケンタッキー フライドチキン 29
- サーティワン アイスクリーム 8
- リンガーハット 2
- ビアードパパ 2
- ゴンチャ 2

国内外合計 約370店舗

平和堂の紹介

～大阪府・兵庫県のスーパー・ショッピングセンター店舗展開～

大阪府内の平和堂直営店舗 22店舗、兵庫県内の平和堂直営店舗 3店舗
アル・プラザ6店舗、GMS1店舗、フレンドマート17店舗、小型スマート1店舗

AP=アル・プラザ
FM=フレンドマート
FMS=フレンドマートスマート
GM=ガーデンモール
FT=フレンドタウン

高槻エリア

AP高槻
FM高槻川添店
FM高槻氷室店
FM高槻美しが丘店

茨木エリア

AP茨木
真砂店
GM彩都
FM茨木平田店
FMS茨木サニータウン店

吹田豊中エリア

FM豊中熊野店
FM健都店

伊丹尼崎エリア

APつかしん
APあまがさき
FM尼崎水堂店

枚方エリア

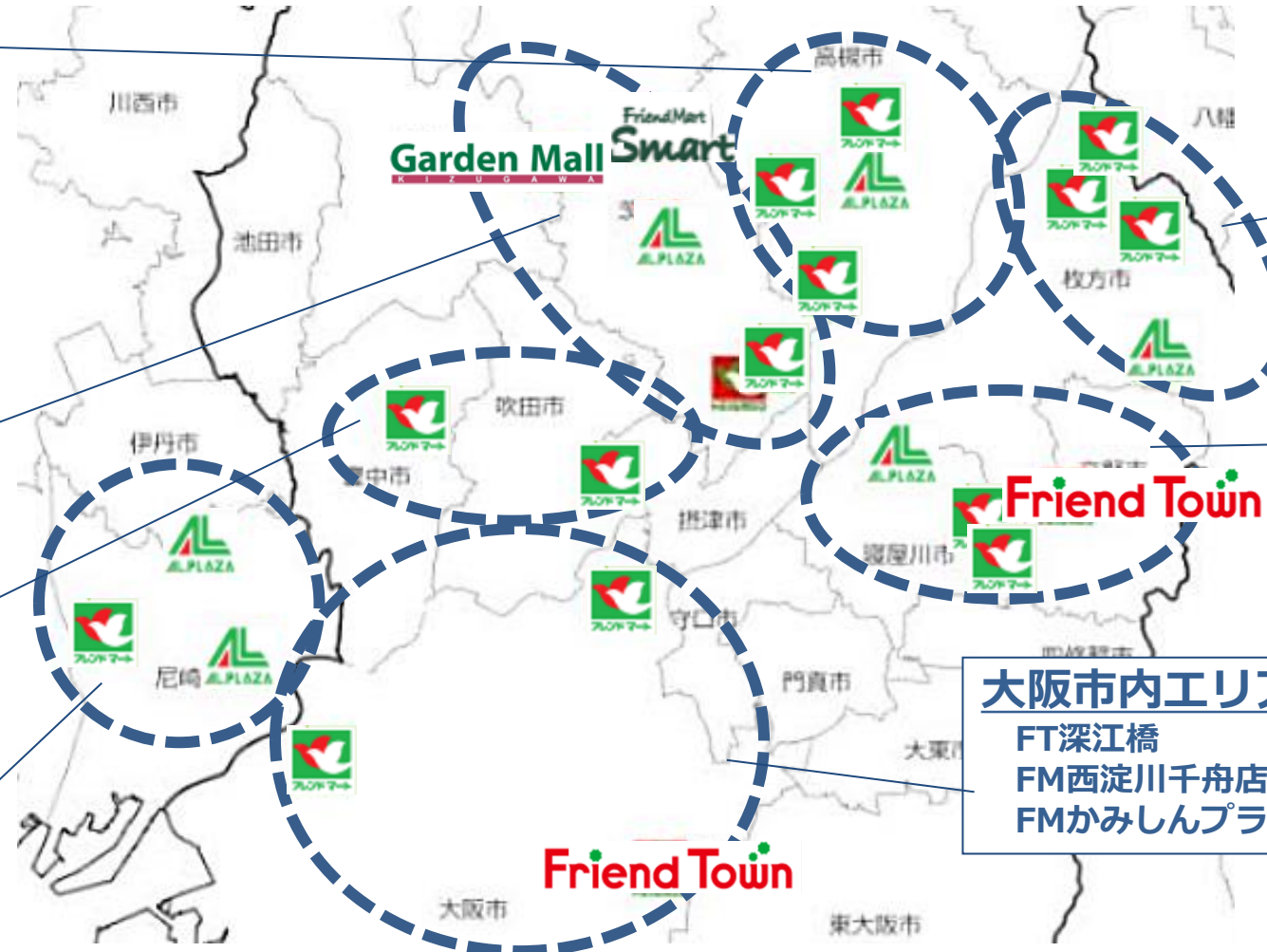
AP枚方
FMくずは店
FMニトリモール枚方店
FM枚方養父店

寝屋川エリア

AP香里園
FT交野
FMビバモール寝屋川店
FM東寝屋川店

大阪市内エリア

FT深江橋
FM西淀川千舟店
FMかみしんプラザ店



平和堂の紹介 ～大阪府・兵庫県・奈良県のグループ店舗展開～

大阪府・兵庫県・奈良県内の平和堂グループ店舗 57店舗

直営店舗 25店舗 ショップ型店舗 11店舗 書籍・フィットネス 6店舗 飲食店 15店舗

ショップ型店舗



➤ CoCoRoPlus (コスメショップ)

大阪府 ららぽーと和泉店 ららぽーと堺店
日生中央サピエ店 あべのand店
リノアス八尾店
兵庫県 テラッソ姫路店 アスパア明石店
阪急池田駅店 神戸三宮店
大丸須磨店

➤ kids fest (キッズライフスタイルショップ)

兵庫県 アスパア明石店

書籍・フィットネス



➤ 平和書店

大阪府 アル・プラザ枚方店 アル・プラザ香里園店
アル・プラザ茨木店 フレンドタウン深江橋店

➤ エニタイムフィットネス

大阪府 交野星田北店
兵庫県 兵庫駅前店

飲食店

➤ ケンタッキー・フライド・チキン

大阪府 アル・プラザ茨木店 アル・プラザ香里園店
東寝屋川店(フレンドマート東寝屋川店内)
関西スーパー西冠店 アクトアモーレ高槻店

兵庫県 アル・プラザあまがさき店

➤ サーティワンアイスクリーム

大阪府 アル・プラザ香里園店

兵庫県 あまがさきキューズモール店

➤ ビアードパパ

大阪府 イオンモール茨木店

➤ COCO'S

奈良県 橿原神宮店 橿原店 桜井店
大安寺店 都跡店 奈良鴻ノ池店



平和堂の紹介 ～平和堂の府県別食品シェア～

(単位：%)

商圈食品スーパー内での食品売上高シェア

2025年度直近データより

滋賀県 第1位

84店舗	シェア
平和堂	39.1
(生協)コープ滋賀	8.5
西友	5.9
イオンビッグ	5.6
バロー	5.4

京都府 第3位

19店舗	シェア
京都(生協)	13.2
マツモト	9.3
平和堂	8.5
ライフ	6.6
さとう	6.5

兵庫県3店舗

平和堂	0.8
-----	-----

大阪府 第12位

22店舗	シェア
ライフ	13.9
万代	13.3
イズミヤ・阪急オアシス	7.3
～中略～	
平和堂	2.5

岐阜県 第12位

6店舗	シェア
バロー	20.8
イオンビッグ	7.1
(生協)コープぎふ	6.7
～中略～	
平和堂	2.4

愛知県 第12位

21店舗	シェア
ユニー	10.2
フィール	7.8
バロー	7.1
～中略～	
平和堂	2.0

福井県 第3位

6店舗	シェア
福井県民(生協)	15.7
バロー	13.1
平和堂	10.0
ヤスサキ	9.4
フード福井	5.2

石川県 第5位

7店舗	シェア
アルビス	14.3
イオンリテール	12.6
マルエー	9.0
大阪屋ショッブ	8.3
平和堂	7.5

富山県 第10位

2店舗	シェア
大阪屋ショッブ	29.6
アルビス	21.6
バロー	6.8
～中略～	
平和堂	2.9

平和堂の紹介 ～茨木エリアのドミナント戦略～

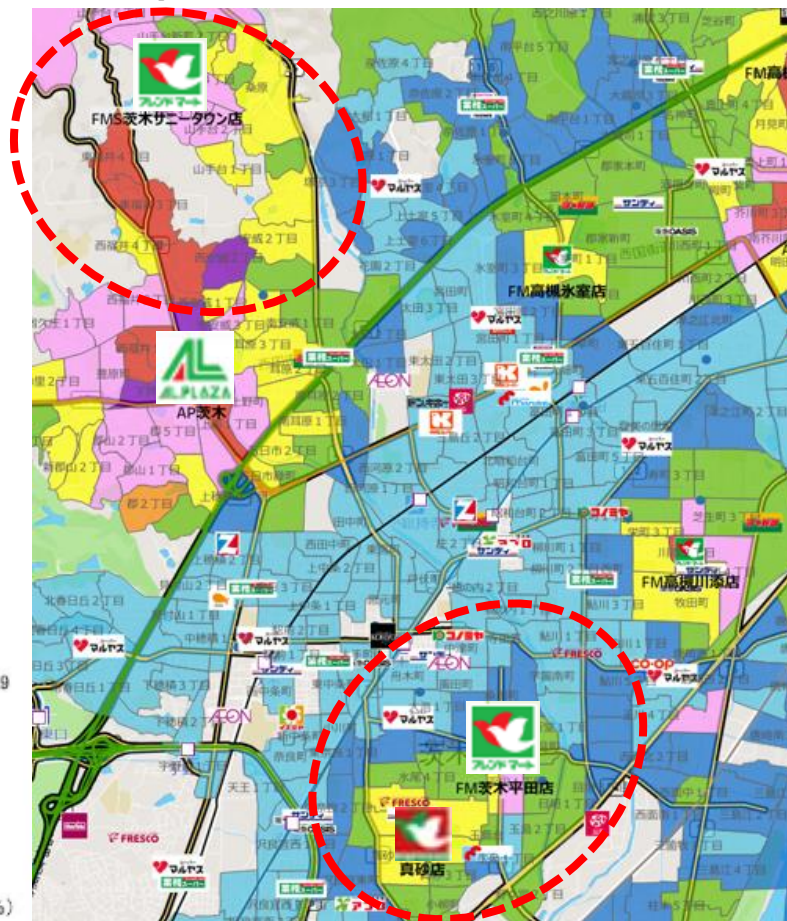
茨木市では直営5店舗を展開。北摂エリアは自社の最重点エリアと位置づけ
ドミナント形成を進めるべく、2023年9月にFMS茨木サニータウン店、
2024年6月にFM茨木平田店を開店

AP = アル・プラザ
FM = フレンドマート
FMS = フレンドマートスマート

2023年6月



2026年6月



サニータウンは茨木北部に
位置し、独立した生活圏
2022年9月に既存のスーパー
が閉店し、居ぬきにて出店

真砂店と**FM高槻川添店**との間に
FM茨木平田店を開店し、
食品シェアの拡大が進む
既存の真砂店の売上はキープ
できている

平和堂の紹介 ～茨木エリアのドミナント戦略～

ドミナント戦略を生かした店舗での取組み事例

AP茨木とFMS茨木サニータウン店の取組み

AP = アル・プラザ
FM = フレンドマート
FMS = フレンドマートスマート

● 2店舗の関係

AP茨木は衣・住・食すべてが揃う、エリアの旗艦店舗
FMS茨木サニータウン店は小商圈を補完する、
150坪スタイルの小型店舗

● 背景

サニータウン地域は坂道が多く、電動自転車の需要が多い地域と予想できる
FMS茨木サニータウン店には自転車売場がなく、
自社で購入いただくには、4km離れたAP茨木まで
来ていただく必要がある

● 取組み

**FMS茨木サニータウン店で、AP茨木主催の
電動自転車の出張試乗会を開催**

年配のお客様向けに小さめ自転車も用意、
近隣に保育園もあるため子乗せタイプも用意し、
開催日2日間で9台の販売！



平和堂の紹介 ～グループの価値創造～

平和堂グループは「100年企業」を実現するため、事業を通じた「地域社会の課題」「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指します

■財務資本
安定的な財務基盤

■人的資本
地域の暮らし全般に関わる
多様な価値を提供できる人材

■知的資本
多様なチャネルをベースとした
平和堂グループビジネス

■製造資本
近畿・北陸・東海エリアでの
ドミナント展開

■社会・関係資本
地域社会、行政との連携
お取引先様満足度

■自然資本
温室効果ガス削減、リサイクル
推進など



多様なチャネルをベースとした平和堂グループ全体での地域に密着した機会・場の提供
(2026年2月末現在)

▶営業収益(連結)
4,560億円
(前年比102.5%)

▶多様な人材が活躍する職場
女性管理職比率
11.6%
(当社基準)

▶HOPカード経済圏の拡大
ハウス外利用時のHOPポイント付与

▶当社こだわりブランドの拡大
くらしモア・E-WA!売上高
554億円

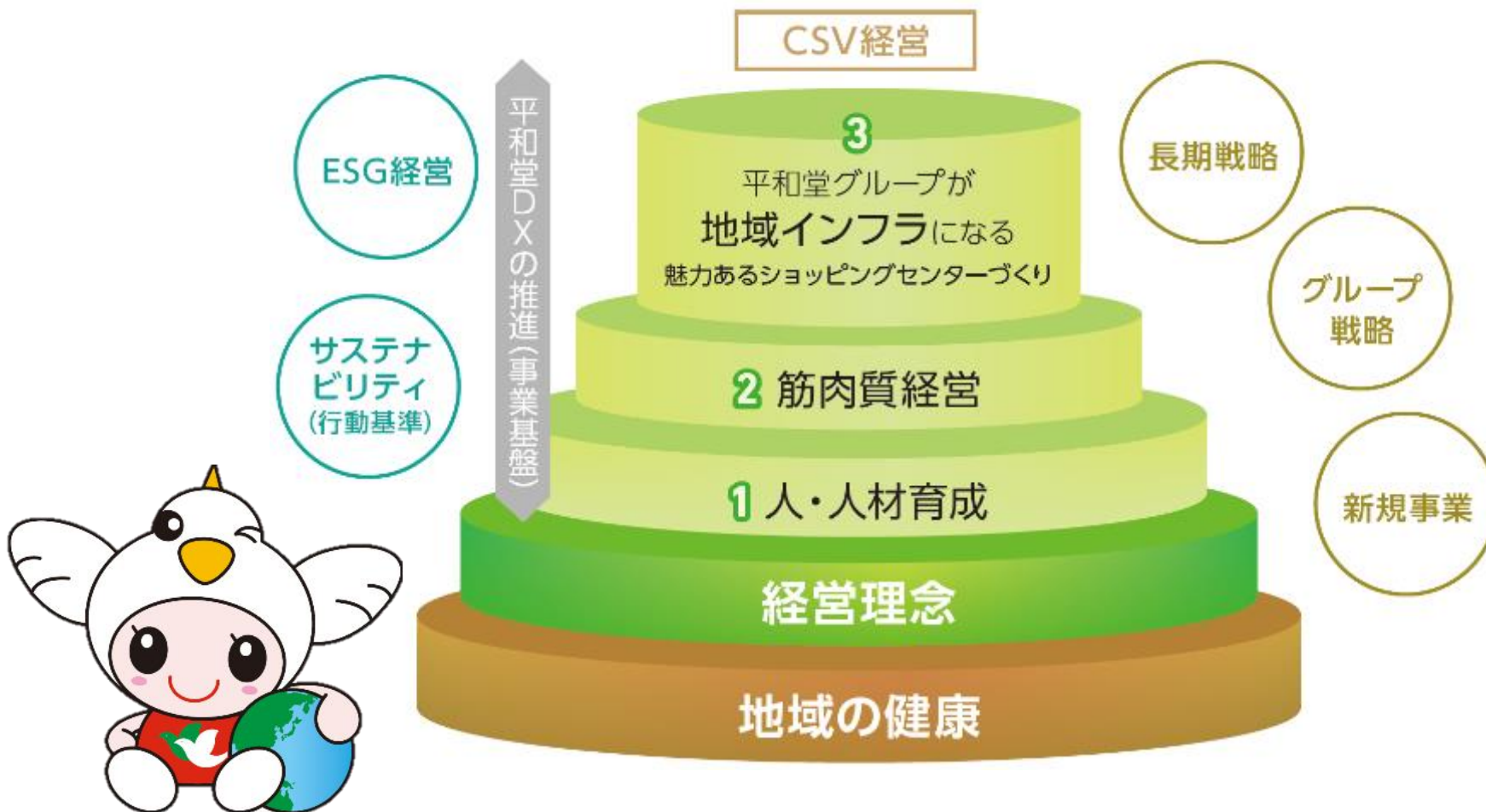


ありがたい姿

平和堂グループ憲章
全従業員の物心両面の幸福
を追求するとともに、
お客様と地域社会に貢献し
続ける企業となる

平和堂の紹介 ～グループの中長期ビジョン～

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す



「地域が健康」
であることが前提

地域が健康であるということ
は、そこに住んでおられ
る人が健康であることと、
地域活動が活発であること

地域経済も活性化される

平和堂の紹介 ～グループの中長期ビジョン～

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す

平和堂グループの存在意義

平和堂グループは、

『地域のインフラとして、生活全般に関わり、地域とともに社会的課題の解決に取り組む。そして、健全な社会環境の中で、多様な価値観が尊重され、誰もが住みやすく、“活気のある地域社会”と“豊かな暮らし”を実現する。』 に貢献し続ける

実現したい世界

人々が暮らしていく中で、その地域が住みやすく、健康的で活気があり、助け合いの精神が息づいている。そのため、高齢者にとっても不自由の少ない、将来を担うお子様にとってのものびのびと育ち、子育て苦勞も軽減されるような環境・雰囲気がある地域の文化を大切にし、環境の保全の意識も高く、生活の質が高い。それらの状況は、活発な地域交流と心地よい人と人の繋がりがもたらす。

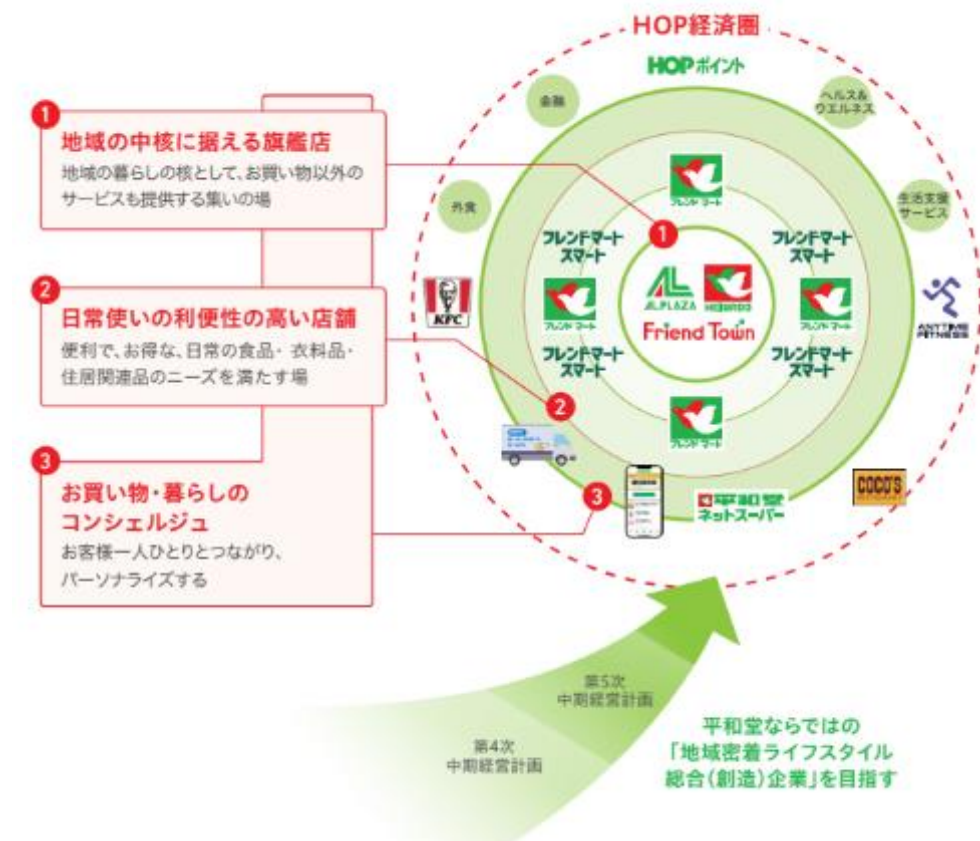




2. 第5次中期経営計画と 業績の推移

2030年に向けてありたい姿

- 様々なお買物のニーズやシーンに応える複数のフォーマットを構築・展開し、平和堂ならではのドミナントモデルでHOP経済圏を構築・拡大
- 従来のお客様支持を更に高めながら、子育て世代の支持を一層高める



エリア・店舗
戦略

子育て世代ニーズ
対応による
顧客支持の獲得

商品・売場
戦略

ドミナント戦略を
ベースとした
HOP経済圏の拡大

魅力ある
平和堂グルー
プの実現

生産性改善も含む
コスト構造改革
の推進

グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

HOP経済圏

～自社の強み HOP会員・HOPアプリ～

HOP会員

税抜き100円で1ポイントたまり**高還元**
1,000ポイントで1,000円の**現金**キャッシュバック



会員： 約**414万人**

マネー利用率： 約**45%**

滋賀県民の約7割が会員
約半数がHOPマネー利用

HOPアプリ会員

京都銀行・三井住友銀行など10社の金融機関とHOP-VISAより、
自社電子マネーであるHOPマネーを口座振替チャージ可能



会員： 約**138万人**

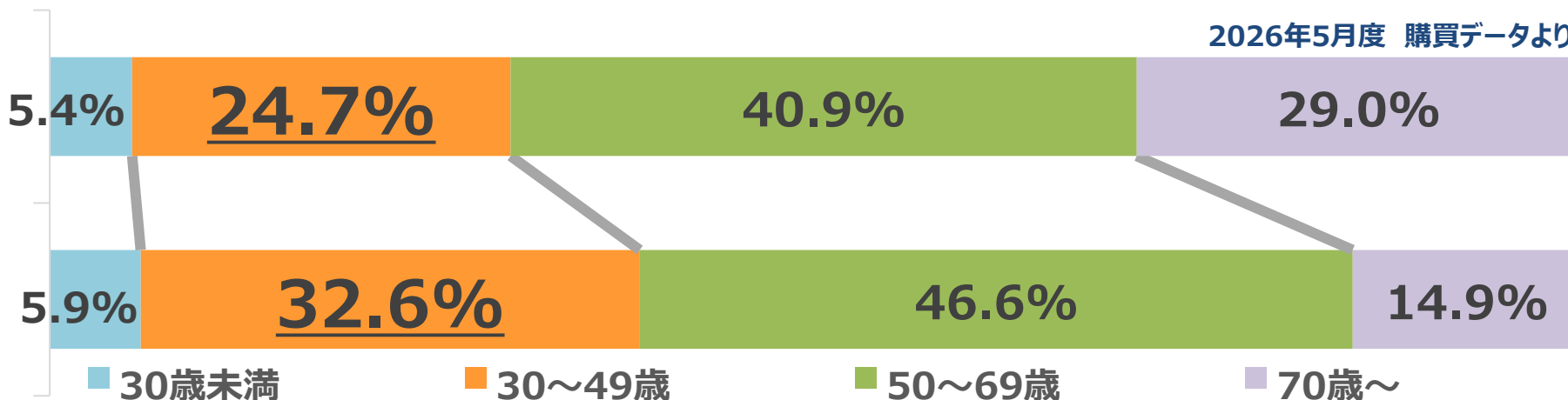
らぶきっず会員： 約**22万人**

2026年
5月度末時点

アプリ会員の約7割がアクティブユーザー
お得情報と決済がセットで使われるアプリ

HOP会員

アプリ会員



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

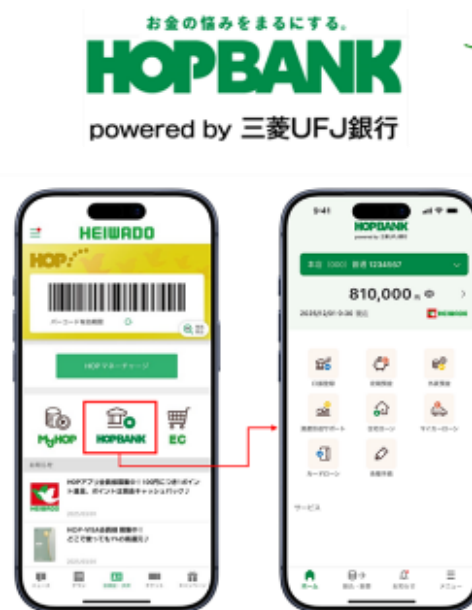
HOP経済圏

～新たな取組み HOPBANK(ホップバンク)～

HOPBANK(ホップバンク)

- スーパーマーケット業界初、BaaSによるフルバンキング型個人向け銀行サービスを2025年から開始
- HOPポイント番号と口座を紐づけることでHOPマネーチャージ、振込・振替、入出金明細、各種ローンのお借入れなど銀行取引が可能となり、取引に応じてHOPポイントがたまる

銀行との協業は、小売業にとって
「単なるモノの販売」から
「顧客のライフスタイル全般を支援するサービス」へと
ビジネスモデルを進化させる大きなチャンス。
顧客の囲い込みや新たな収入源の獲得、
マーケティングの高度化などが期待できる。



オンラインで口座開設・円預金 HOP

残高照会・入出金明細

給与 年金振込・口座振替 HOP

住宅ローン HOP

自動車ローン(※1) HOP

カードローン(※2) HOP

HOPマネー・チャージ HOP

平和堂主催 金融教育イベント HOP

(※1) 三菱UFJ銀行のネットDEマイカーローン
(※2) 三菱UFJ銀行のカードローン『バンクイック』



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

顧客支持獲得

～子育て世代ニーズ対応～

頻度品の価格対応や
食品の大容量パックの拡充

■ 頻度品価格訴求PB「くらしモア」や、こだわりブランドPB「E-WA!」の強化

・PBは、プライベートブランド（自社開発商品）

単位（％）	2024年度			2025年度		
	前期比	構成比	構成比 前期差	前期比	構成比	構成比 前期差
PB計	108.1	12.9	0.0	107.9	13.9	+0.4
くらしモア	107.3	5.3	△0.2	109.6	5.6	+0.2
E-WA!	108.7	7.7	+0.1	106.8	8.3	+0.1



■ 30～40代の人気商品「KVI（キーバリューアイテム）」の販売力強化



単位（％）	2024年度			2025年度		
	前期比	構成比	構成比 前期差	前期比	構成比	構成比 前期差
KVI計	105.7	8.5	△0.1	114.0	7.2	+0.6
生鮮食品	107.7	13.3	0.0	115.3	14.1	+1.3
一般食品	102.8	5.5	△0.1	110.7	3.4	+0.2
日用品				114.1	2.9	+0.4

※対象商品は効果検証により随時見直しを実施しているため、構成比は集計時期毎に異なる

グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

顧客支持獲得

～新店舗の展開 ドミナント強化～

新規出店により、エリアの拡大とドミナントの形成および深耕

2025年度は5店舗新設

■ 滋賀県内エリア補完

◆ フレンドマート八日市妙法寺店

(滋賀県東近江市)

◆ フレンドマート今堅田店

(滋賀県大津市)

■ 建替え

◆ フレンドマート南郷店

(滋賀県大津市)

◆ フレンドマート守山駅前店

(滋賀県守山市)

■ 居抜き

◆ ニッケタウン稲沢店

(愛知県稲沢市) アオキスーパー跡地

2027年秋頃…

◆ JR岸辺駅前に新店開店予定(店舗名称は未決定)

■ 店舗イメージ図



- 2025年2月にフレンドマート岸辺店閉店
- 売場面積を拡大し、建替えオープン
- ほか、京都府城陽市に1店舗・石川県金沢市に1店舗と、2027年度は3店舗開店の計画

2026年度は2店舗新設予定

◆ アルファフーズマーケット富山掛尾

(富山県富山市)

2026年秋オープン予定 総投資額845百万円



◆ アルファフーズマーケット高岡

(富山県高岡市)

2026年秋オープン予定 総投資額2,691百万円



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

顧客支持獲得

～計画的な店舗改装～

既存店の計画的な改装実施により、
ショッピングセンター全体の魅力を向上

- 1990年代に多くオープンした築30年前後の大型店の改装を計画的に進め、エリア戦略上の中核店舗として競争力を維持・強化。
- 食品売場は、売上好調な最新の「勝ちモデル」を導入することで確実に売上を向上。
- 衣料品・住居関連品売場は、直営の売場面積見直しによる効率化と合わせて、無印良品やLOFTなどの大型テナントを誘致。

■ 改装投資額 年度推移

単位:百万円

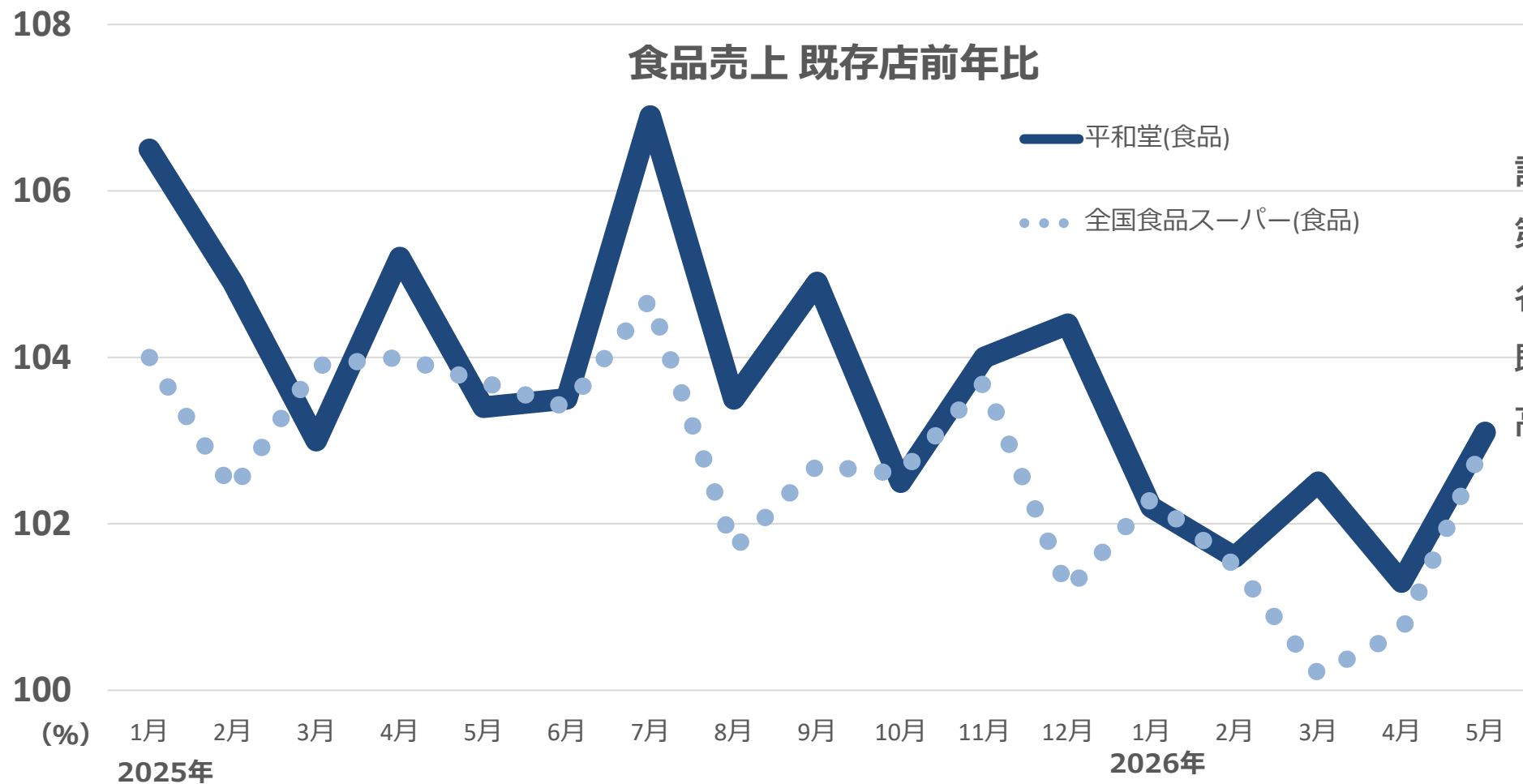
2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 (計画)
3,798	4,213	3,036	4,613	4,236



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

顧客支持獲得

～取組み効果による顧客支持獲得～



計画的な既存店の改装、
第5次中期経営計画の
各種取組みが寄与し、
既存店の食品売上高前年比は
高い水準を維持できています

グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

顧客支持獲得

店舗における商品販売にとどまらず、多様なライフスタイルに対応するサービスの展開

ホームサポートサービス

滋賀県内世帯カバー率100%



①ご注文受付



②商品選定～配達準備



③商品配達

お買い物以外のお困りごとをお手伝い



お庭の草刈り、ペットボトル・牛乳パック回収など

移動販売

地域コミュニティの活性化と見守り



移動販売車到着前から健康講座を実施し、その後お買い物へ 現在3エリアで事業展開中

ネットスーパー



受取り時間の指定ができるため、仕事や育児、介護や悪天候など様々な生活シーンにあわせて、ご利用いただけます

京阪神・滋賀地区7店舗で事業展開中

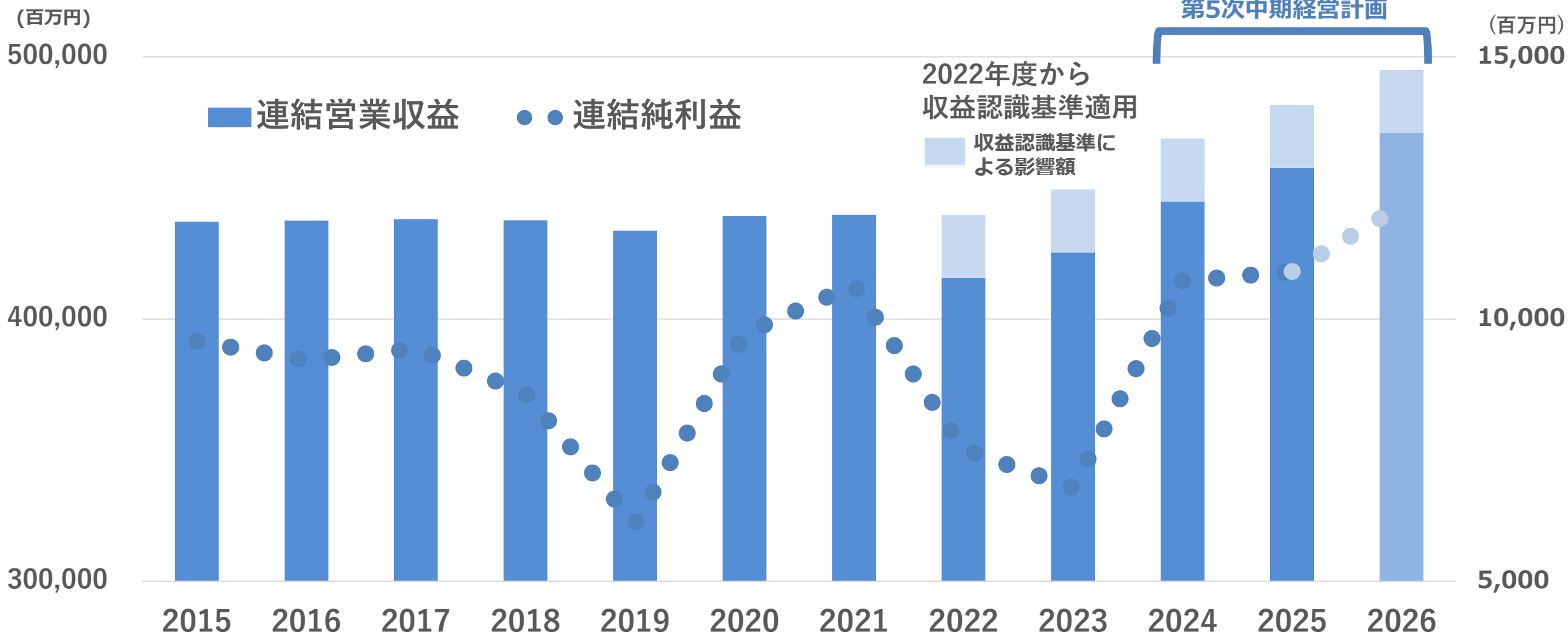
2025年度の業績

連結は増収減益、単体は増収増益。
営業収益は、連結・単体ともに、過去最高。

連結	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
	456,010百万円 前期比 102.5%	13,313百万円 前期比 99.6%	14,605百万円 前期比 99.8%	9,409百万円 前期比 87.7%
単体	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	422,251百万円 前期比 104.6%	10,340百万円 前期比 100.1%	12,165百万円 前期比 100.5%	9,540百万円 前期比 108.0%

業績の推移

第5次中期経営計画を推進し、売上高にあたる営業収益は
2024年度から大きく伸長しています



2030年定量目標

2030年に向けて成長を加速すると同時に、株主の皆様への安定的な利益還元を目指します

2030年の定量目標		2025年度実績
営業収益(連結)	5,000億円以上	4,560億円
営業利益率(連結)	4.5%以上	2.9%
ROE	8%	4.9%
女性管理職比率	20%以上	11.6%
CO2排出量(Scope1・2)	46%削減(2013年度比)	30.0%削減
食品廃棄額	50%削減(2019年度比)	29.5%削減





3. サステナビリティ ビジョンと取組み

サステナビリティの推進

平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン

「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指す
5つの重要課題ごとにテーマを設けて解決に取り組む

重要課題	テーマ	関連するSDGs項目
「地域の健康」の実現	人の健康／子育て支援／ 高齢者支援／地域の活性化	     
廃棄物の削減と 資源循環の推進	プラスチック削減対策／ 食品ロス削減対策	 
脱炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	
安全・安心で持続可能な 商品の調達	商品調達基本方針に 沿った商品の調達	  
多様な人材の活躍	女性の活躍／人材育成 健康経営	  

サステナビリティの推進

「地域の健康」の実現



以下、2025年度もしくは2025年度末時点の数値です。

地域住民の健康推進

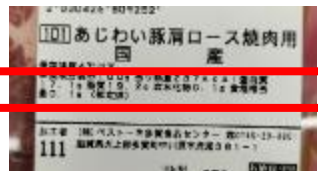
野菜摂取啓発取組み、表示による「健康」訴求



野菜の摂取量が測れる
「ベジチェック」設置

37店舗

POPや食品表示で栄養などが分かりやすく伝わるよう工夫



健康イベントの開催

地域の「人の健康」づくりをサポート



【開催店舗】

- ・ビバシティ平和堂
- ・グリーンプラザ店
- ・アル・プラザ宇治東

企業横断プロジェクト「PROTECT HEARTS PROJECT」に参加し、高血圧予防・啓発のイベントを3店舗にて開催

地域の子供たちが笑顔に

地域活性化イベントや環境学習の受入れ



大型店舗でお子様の年代に合わせたイベントを年間を通じて開催

環境学習
「おしごと&エコくらぶ」
年間参加者

1.3万人 突破



サステナビリティの推進

脱炭素社会の実現

廃棄物の削減と
資源循環の推進

脱炭素社会の実現

年間Co2排出量

基準	2024年度実績	2030年度目標
2013年度CO2排出量 228,317t/CO2	160,133t/CO2 30.0%削減	2013年度比 46%削減

2024年度実績
2013年度比

30%削減

※平和堂グループscope1・2合計値
※最新のCO2排出量は平和堂ホームページにて随時更新

店舗の屋根や駐車場へのソーラー
カーポートを設置やオフサイト
PPAによる再生可能エネルギーの
導入拡大



年間Co2削減量

△7,246t-Co2

店舗の改装に合わせて省エネ性
能の高い冷ケースへの更新や、
既存冷凍設備の運用方法の見直
しを実施



年間Co2削減量

△1,783t-Co2

食品ロス削減・リサイクルの取組み

生鮮食品での消費期限の延長
や、食品全体の客数予測の精
度向上などの取組みを進めて
います

食品廃棄率
(2019年度基準)

29.5%削減



販売期限切れの精米を滋賀
県・京都府社会福祉協議会に
寄付
こども食堂などに役立ていた
だいています

寄付量 **795**kg

地域のリサイクル拠点とし
て店頭回収ボックスを設置

回収量

食品トレー **282** t

透明トレー **245** t

ペットボトル **1,371** t



サステナビリティの推進

多様な人材の活躍

多様な人材の活躍

人事戦略の課題

企業理念・パーパスへの共感

エンゲージメントの向上

多様な人材の活躍

人材の採用・発掘・育成

働き方改革・業務効率化・労働環境改善

健康経営

人事戦略の重点取り組み

平和堂フィロソフィの浸透

承認する文化の醸成

DE&Iの更なる推進

人材の獲得と育成

働きやすい職場の構築

健康経営の推進・労働安全

働きやすい職場の構築

育児や介護と仕事を両立しながらキャリアを築きたいCDコース社員を応援するため、短時間勤務制度を運用
2025年度からは、短時間勤務であっても主任や管理職として活躍できる環境づくりに取り組んでいます
この一環として「Work&Lifeシナジー研修」を実施



DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の更なる推進

多様な人材の活躍を推進し、持続的な成長を実現するためにDE&Iの考え方を浸透させていきます

女性活躍推進

- ・2024年2月より「ダイバーシティ推進課」を設置し、女性をはじめ多様な人材が生き生きとやりがいを持って活躍できる職場環境を目指し活動しています

女性管理職比率
(平和堂基準V級以上)

11.6%

認知症サポーターの養成

店舗にご来店いただくお客様に快適にお買い物をしていただくための施策の一環として、
2022年11月より、全従業員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催
店舗従業員の半数以上が受講することを目標に取り組んでいます



認知症サポーター数

15,328人

4. 株主還元

株主還元方針

2026年2月期は、「今回の株主還元方針の見直しに伴い配当性向30%以上を株主に還元する」

としたことに従い、中間配当**33円**、期末配当**33円** 年間**66円** とします

2025年2月期から2027年2月期の配当政策については「**累進配当**」とします

余剰資本については、株主に還元し、財務規律は維持します

	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2	2026/2	2027/2予想
当期純利益(百万円)	10,647	7,516	6,774	10,727	9,409	9,800
1株当たり配当金(円)	42	42	42	63	66	66
配当性向(%)	20.7	29.3	32.5	30.1	34.9	33.3

配当利回り 約**2.4%**
(2026/8/7地点)

➤株主還元強化のため、継続的な自社株買い・株主への還元施策を検討してまいります

株主優待制度

対象の株主さまへ「株主様ご優待券（額面100円）」または「デジタルギフト」のいずれかを贈呈いたします。長期保有の方には優待券(デジタルギフト)追加の贈呈をいたします

対象となる株主さま		
毎年2回（2月20日、8月20日）現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上保有する株主さまを対象といたします		

所有株式数	1回当り贈呈額	長期保有制度(+1,000円分)
100株～299株	1,000円のご優待券	
300株～499株	3,000円のご優待券	4,000円のご優待券
500株～999株	5,000円のご優待券	6,000円のご優待券
1,000株～1,999株	10,000円のご優待券	11,000円のご優待券
2,000株～2,999株	20,000円のご優待券	21,000円のご優待券
3,000株～3,999株	30,000円のご優待券	31,000円のご優待券
4,000株～4,999株	40,000円のご優待券	41,000円のご優待券
5,000株以上	50,000円のご優待券	51,000円のご優待券

※ご使用方法は、1回のお買上金額（1枚のレシートの税込金額）1,000円以上につき1,000円毎に各1枚（100円券）ご利用いただけます

「デジタルギフト」 をご希望の場合
100株～999株 500円のデジタルギフト
1,000株以上 2,000円のデジタルギフト
※長期保有の方には+500円

※様々なQRコードやポイントの優待
を選択いただけます

配当利回り 2.4%
配当＋優待の総合利回り
優待券の場合 3.2%
デジタルギフトの場合 2.8%

8/7時点の株価、100株保有前提で計算

株価の動向

平和堂（8276）と日経平均株価の推移



ご清聴ありがとうございました。



株式会社平和堂
総務部・経営企画部・財務部
IRチーム

0120-668-852

<https://www.heiwado.jp/info/form>

投資家の皆様にお役立ていただける当社企業情報を

下記ホームページにてご覧いただけます

<https://www.heiwado.jp/company>

